

# 「次は違う職種に就きたい」人たち

## 職種別:リポート意向(後編)

### Contents

- 〈1〉同職種内の流動状況
- 〈2〉フード
- 〈3〉販売
- 〈4〉軽作業・ラインスタッフ
- 〈5〉配送・物流

調査方法: インターネットアンケート

調査対象: 北海道・首都圏・東海・関西・九州 在住 15-34歳男女のうち、  
現在「高校生、短大、専門学校生、大学生、大学院生、アルバイト・パート、派遣社員、契約社員、無職」かつ  
「過去1年以内に新しくアルバイト・パート、派遣社員、契約社員の仕事に就いたことがある」人

調査期間: 2008年3月

サンプル数: 北海道938s・首都圏2888s・東海1879s・関西1904s・九州925s 合計8534s

集計データについて: 上記5エリア内においては、人口構成比にあわせるため平成19年度労働力調査のデータによりウエイト補正をおこなった。  
そして、これら5エリアを合算した。

「anReport」では、求職者のライフスタイル、意識の変化、また人材採用・戦力化、等の各種アンケート調査を定期的を実施。労働統計等の資料と併せ、毎月一回「トレンドDATA」として発表をしています。  
株式会社インテリジェンス an Report編集部 E-mail: an\_report@inte.co.jp

1 ●●●

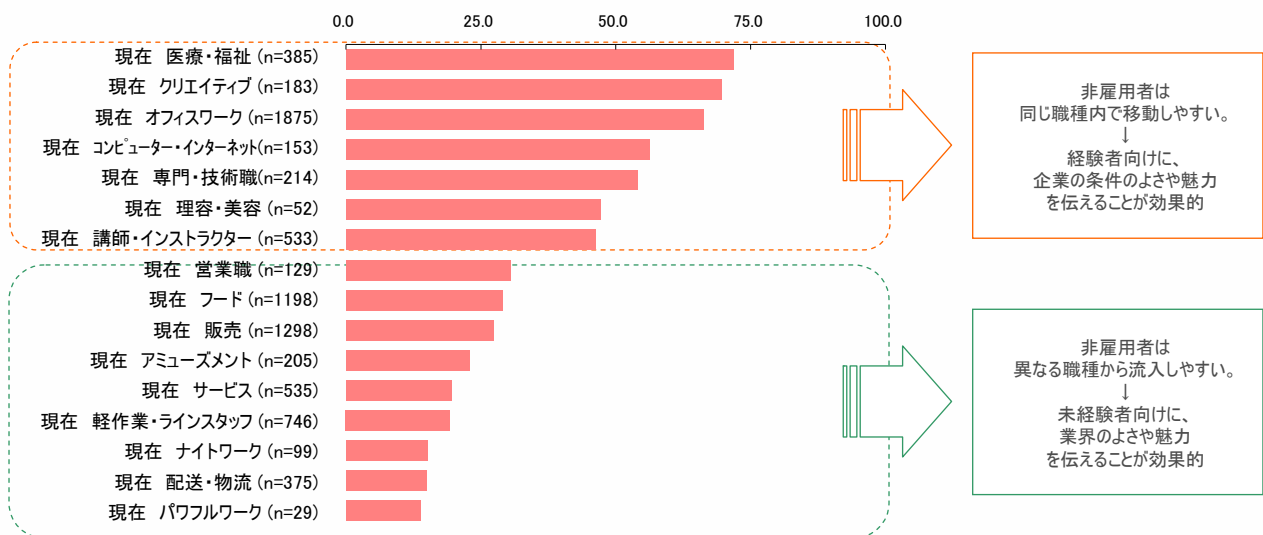
■他業種からの流入を促進

このトレンドDATAの前号(7月号)では、「次も同じ職種に就きたい人たち」と題して、〔医療・福祉〕〔オフィスワーク〕〔講師・インストラクター〕〔クリエイティブ〕を取り上げた。これらの職種においては、非雇用者は同じ職種(業界)内で移動しやすい。したがって、採用にあたっては、経験者向けにその企業・職場のよさや条件の魅力を伝えることが効果的といえる。

一方、今回とりあげる〔フード〕〔販売〕〔軽作業・ラインスタッフ〕〔配送・物流〕という職種では、非雇用者は、異なる職種間を移動しやすい。つまり、異なる職種からの流入が多いという傾向がある。したがって、こうした職種における採用では、未経験者向けに、その仕事のよさや魅力から伝えていくことがポイントとなる。

そこで、今月のトレンドDATAでは、「次は違う職種に就きたい人たち」と題し、〔フード〕〔販売〕〔軽作業・ラインスタッフ〕〔配送・物流〕それぞれについて、その職種を希望する理由、その職種を選ぶときの重視点を、他業種からの流入層に焦点をあてて深掘っていく。そうすることで、他業種からの流入を促進、採用を効率化するヒントを得たい。

(表1-1)次も同じ仕事内容(職種)で働きたい割合



【anレポート トレンドDATAでは・・・】

前月(前編):リポート意向の高いグループ  
〔医療・福祉〕〔オフィス〕〔クリエイティブ〕〔講師・インストラクター〕を取り上げて分析

今月(後編):リポート意向の低いグループ  
〔フード〕〔販売〕〔軽作業・ラインスタッフ〕〔配送・物流〕を取り上げて分析

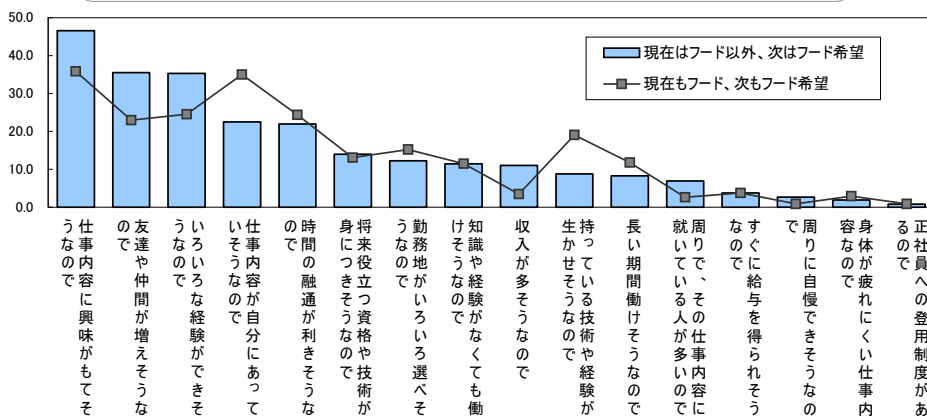
2 フード

では早速、フードからみていこう。

右表2-1の縦棒グラフ(青色)は、現在はフード以外の仕事に従事しているが、次の就業ではフードを希望している層の、その希望理由である。つまり重要な採用ターゲットといえる他業種からの流入層だ。また、参考までに、現在すでにフードに従事しており、次もフードを希望している人(つまり継続層)の理由も、折れ線グラフで示した。

これを見ると、他業種からフードを希望する層にとって、「仕事内容に興味をもてそう」「友達や仲間が増えそう」「いろいろな経験ができそう」といった点 が、フードという職種・業界の魅力となっていることが分かる。また、すでにフードに従事している層に比べて、「収入が多そう」というのもやや高い。

(表2-1) 次に[フード]を希望する理由

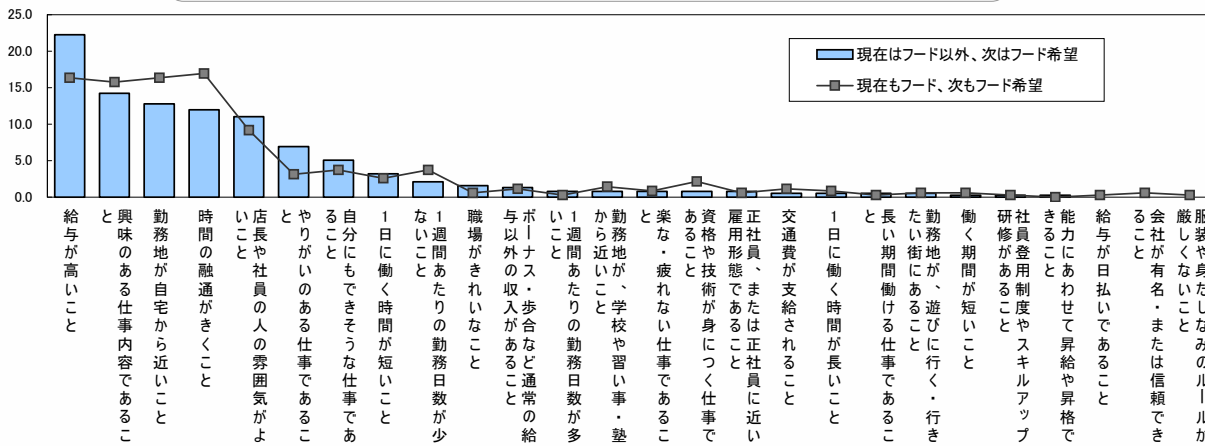


では、実際の仕事選びではどのような条件がポイントになるのだろうか。下表2-2は、仕事を選ぶ際にもっとも重視する点をグラフ化したものだ。

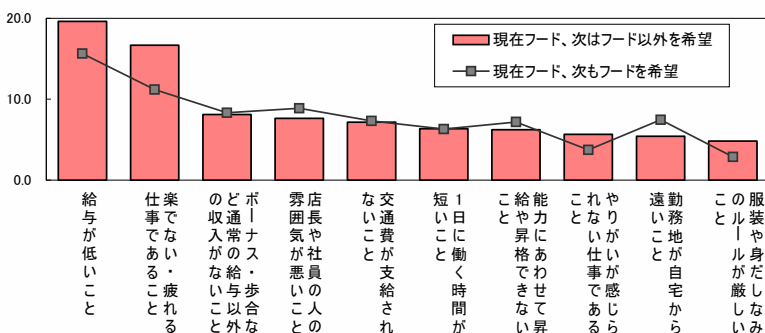
現在[フード以外]に従事し次は[フード]を希望する層では、「給与が高いこと」がトップ。ついで「興味のある仕事内容であること」「勤務地が自宅から近いこと」と続く。先にみた(表2-1)フードを希望する理由では「収入が高そう」というのがやや高かったが、実際に仕事を選ぶときでも、「給与」は重要なポイントになるようだ。

また、現在すでに[フード]に従事し次も[フード]を希望している層に比べ、「店長や社員の雰囲気が良い」「やりがいのある仕事である」も高い。もともと仕事内容への興味や友達・仲間の広がりに期待している(表2-1)という点からも、これは納得のいく結果だろう。

(表2-2) 次の仕事を選ぶ際にもっとも重視すること (単一回答)



(表2-3) 現在フードに従事する層の、仕事に対する不満点



最後に、現在すでに[フード]に従事している層が抱く、仕事への不満点をみておこう。次は他業種に就きたいと希望している層では、「給与が低い」「楽でない・疲れる仕事」が不満のトップであり、しかも、次もフードに就きたい層に比べてその不満度がかなり高い。こうした点の解消が、離職を防ぐことにつながりそうだ。

以上、[フード]業界において、他業種から積極的に採用していくためには、「給与・収入」もさることながら、友達や仲間といった「人間関係の広がりや充実」、仕事で感じられる「やりがい」などを積極的にアピールしていくことが、効果的となる。仲間と楽しく働いている姿や、仕事を楽しんでいる瞬間などを具体的に伝えていくことが有効と思われる。

3 販売

それでは次に販売をみてみよう。

(表3-1) 次に[販売]を希望する理由

右表3-1の縦棒グラフ(青色)は、現在は販売以外の仕事に従事しているが、次の就業では販売を希望している層の、その希望理由である。

彼らは、『2. フード』の項でも説明したとおり、「次も同じ職種(販売)で働こう」と考える人の割合が少ない販売業界にとって重要な採用ターゲットだ。また、現在すでに販売に従事しており、次も販売を希望している人の理由も、折れ線グラフで示した。

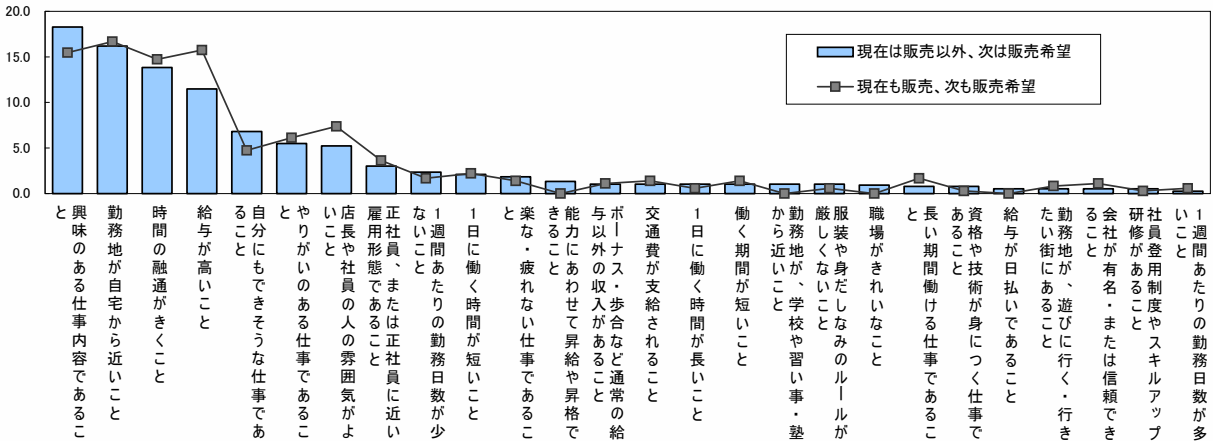
これを見ると、他業種から販売を希望する層にとって、「仕事内容に興味をもってそう」「いろいろな経験ができそう」といった点が、販売という職種・業界の魅力となっていることが分かる。また、すでに販売に従事している層に比べて、「友達や仲間が増えそう」というのもやや高い。

では、実際の仕事選びではどのような条件がポイントになるのだろうか。下表3-2をみてみよう。

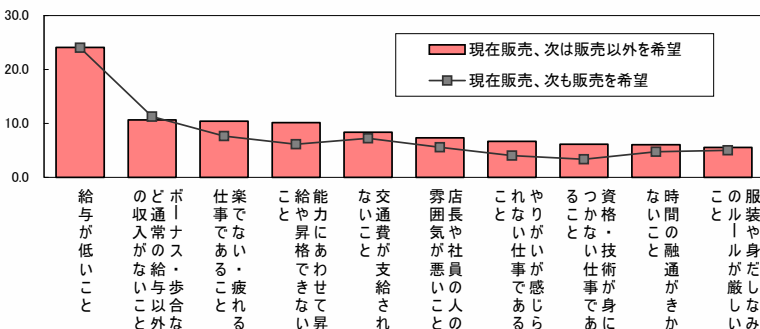
現在[販売以外]に従事し次は[販売]を希望する層では、「興味のある仕事内容であること」がトップ。僅差で「勤務地が自宅から近いこと」が続く。また、現在すでに[販売]に従事している層と比べると、「給与が高いこと」が低く、「自分にもできそうな仕事であること」がやや高い。

他業種から[販売]を希望してくる層は、上グラフ(表3-1)にも表れているように「仕事内容への興味」が大変大きなポイントとなっており、給与は二の次 という姿勢がかいまみれる結果となった。

(表3-2) 次の仕事を選ぶ際にもっとも重視すること (単一回答)



(表3-3) 現在販売に従事する層の、仕事に対する不満点



最後に、現在すでに[販売]に従事している層が抱く、仕事への不満点をみておこう。次は他業種に就きたいと希望している層では、「給与が低い」「ボーナス・歩合など通常の給与意外の収入がない」「楽でない・疲れる仕事」が不満の上位項目。こうした点の解消が、離職を防ぐことにつながるだろう。

以上、[販売]業界において、他業種から積極的に採用していくためには、「給与・収入」のアピールよりも、その仕事がいかに「自分向けだ!」「興味ある!」と思ってもらえるかがポイントとなりそう。そのためには、今現在イキイキと販売で働いている人の様子や、仕事が面白い・楽しいと思えるシーンを伝えていくことも効果的だろう。

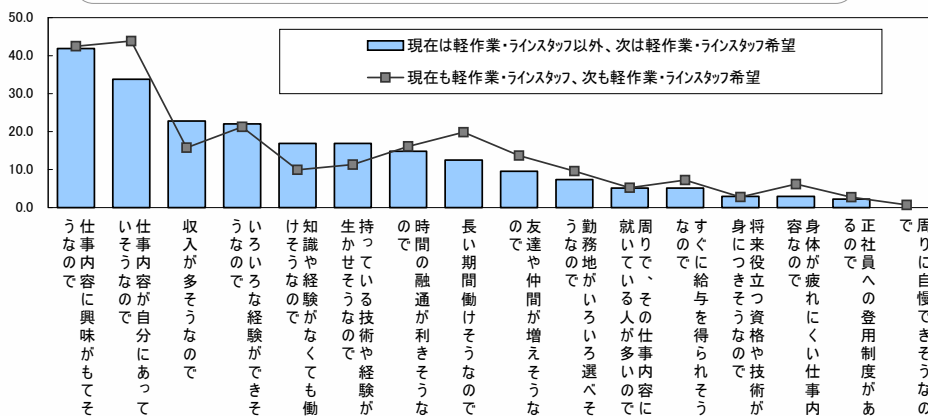
## 4 軽作業・ラインスタッフ

次は軽作業・ラインスタッフ。

右表4-1の縦棒グラフ(青色)は、現在は軽作業・ラインスタッフ以外の仕事に従事しているが、次の就業では軽作業・ラインスタッフを希望している層の、その希望理由である。前項までの繰り返しになるが、「次も同じ職種で働こう」と考える人の割合が少ない職種にとって積極的に採用を考えるべき層。

これを見ると、他業種から軽作業・ラインスタッフを希望する層にとって、「仕事内容が自分にあっていそう」「仕事内容に興味をもてそう」「収入が多そう」「いろいろな経験ができそう」といった点に惹かれていることが分かる。すでに軽作業・ラインスタッフに従事している層に比べて、「収入が多そう」「知識・経験がなくても働けそう」な点もやや高い。

(表4-1) 次に[軽作業・ラインスタッフ]を希望する理由

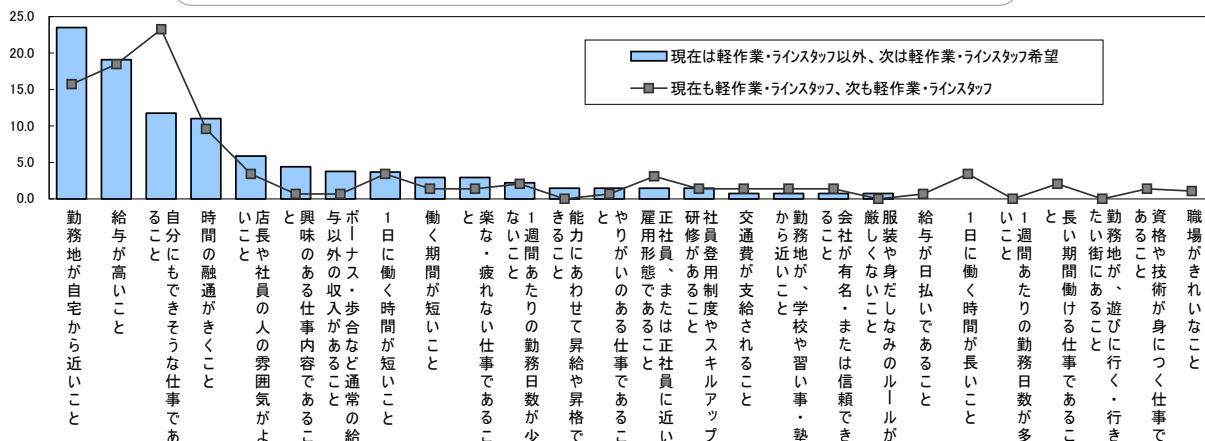


では、実際の仕事選びではどのような条件がポイントになるのだろうか。下表4-2をみてみよう。

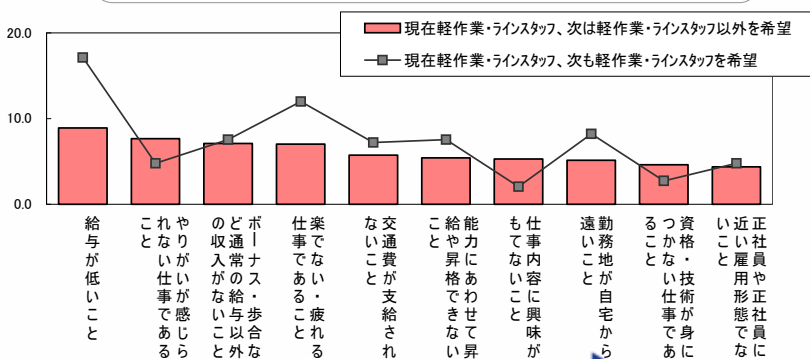
現在[軽作業・ラインスタッフ以外]に従事し次は[軽作業・ラインスタッフ]を希望する層では、「勤務地が自宅から近いこと」「給与が高いこと」が上位2項目。現在すでに[軽作業・ラインスタッフ]に従事している層と比べると、「勤務地が自宅から近い」が特に高いほか、「興味のある仕事内容であること」「ボーナス・歩合など通常の給与以外の収入があること」も高め。

他業種から[軽作業・ラインスタッフ]を希望してくる層は、仕事内容への興味だけでなく、知識や経験がなくても働ける、そして収入も多そうな点にひかれているが(表4-1)、この「イエチカ」を特に重視しているあたりをあわせ考えると、どうやら、“気軽に”“ある程度のお金”を得られるというのも、大きな魅力となっていると推測される。

(表4-2) 次の仕事を選ぶ際にもっとも重視すること (単一回答)



(表4-3) 現在軽作業・ラインスタッフに従事する層の、仕事に対する不満点



最後に、現在すでに[軽作業・ラインスタッフ]に従事している層が抱く、仕事への不満点を見ておこう。次は他業種に就きたいと希望している層では、「給与が低い」「やりがいを感じられない」「ボーナス・歩合など通常の給与と意外の収入がない」「楽でない・疲れる仕事」が不満の上位項目。こうした点の解消が、離職を防ぐことにつながるだろう。

以上、[軽作業・ラインスタッフ]業界において、他業種から積極的に採用していくためには、仕事内容に興味を持ってもらうことももちろん大事だが、プラスの魅力として、スキルや経験がなくても気軽に誰でも働けそうという安心感・親近感を抱かせる工夫が効果的であろう。



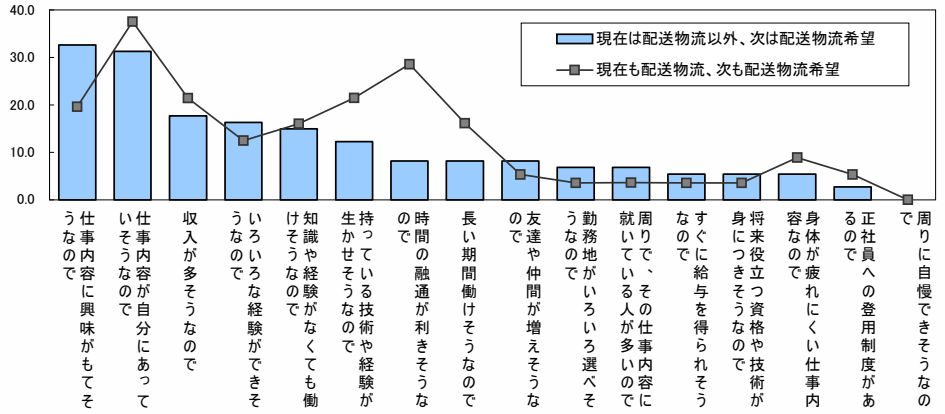
5 配送・物流

最後に[配送・物流]をみてみよう。

右表5-1の縦棒グラフ(青色)は、現在は[配送・物流以外]の仕事に従事しているが、次の就業では[配送・物流]を希望している層の、その希望理由である。

これを見ると、他業種から[配送・物流]を希望する層にとって、「仕事内容に興味をもってそう」「仕事内容が自分にあっという」「収入が多そう」「いろいろな経験ができそう」といった点に惹かれていることが分かる。すでに配送・物流に従事している層に比べて、「仕事内容に興味を持ってそう」「いろいろな経験ができそう」が特に高い。

(表5-1) 次に[配送・物流]を希望する理由

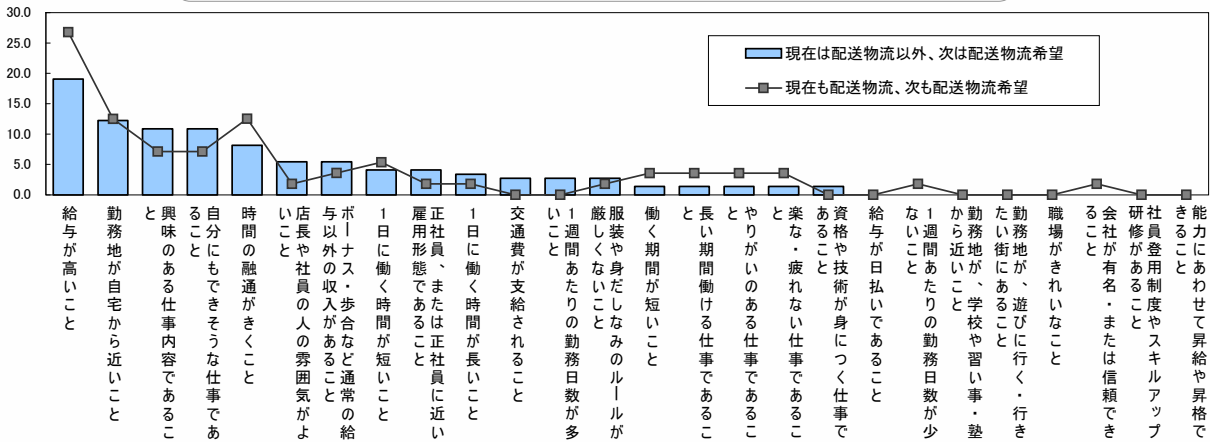


では、実際の仕事選びではどのような条件がポイントになるのだろうか。下表5-2をみてみよう。

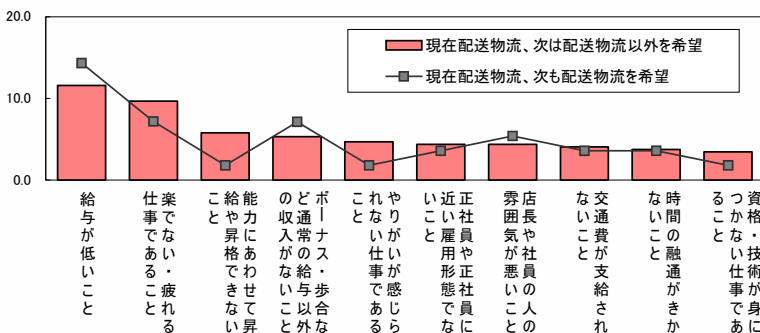
現在[配送・物流以外]に従事し次は[配送・物流]を希望する層では、「給与が高い」「勤務地が自宅から近い」「興味のある仕事内容である」がトップ3。現在すでに[配送・物流]に従事している層と比べると、「給与」や「時間の融通」のウエイトが低く、「興味のある仕事内容であること」や「自分にもできそうな仕事であること」が高い。

他業種から[配送・物流]を希望してくる層は、給与やイエチカというよりは、自分が興味を持てる仕事内容であるか、それが自分にもできそうであるか、いろいろな経験に結びつか ということも視野にいれているようだ。

(表5-2) 次の仕事を選ぶ際にもっとも重視すること (単一回答)



(表5-3) 現在配送・物流に従事する層の、仕事に対する不満点



最後に、現在すでに[配送・物流]に従事している層が抱く、仕事への不満点をみておこう。次は他業種に就きたいと希望している層では、「給与が低い」「楽でない・疲れる仕事」「能力にあわせて昇給や昇格ができない」が不満の上位項目。こうした点の解消が、離職を防ぐことにつながるだろう。

以上、[配送・物流]業界において、他業種から積極的に採用していくためには、その仕事自体の魅力、そこから広がる経験などを具体的に伝えていくことが有効と思われる。